

第16回（令和6年度）独立行政法人農業者年金基金契約監視委員会 議事概要

1. 開催日時

令和6年6月7日（金）13：30～15：00

2. 会場

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

3. 出席者

佐藤 由美 委員長（C&Yパートナーズ税理士事務所 税理士）
市野澤 要治 委員（麴町誠壺法律事務所 弁護士）
平野 智彦 委員（平野智彦公認会計士事務所 公認会計士）
坂本 延久 委員（独立行政法人農業者年金基金 監事）

4. 議題

- (1) 委員長の互選等
- (2) 令和5年度調達等の実績と自己評価について
- (3) 令和6年度調達等合理化計画（案）の策定について

5. 概要

- (1) 令和5年度調達等の実績と自己評価について

基金より令和5年度における競争性のない随意契約6件、一者応札・応募となった一般競争入札16件について説明を行った。

一者応札・応募となった契約の件数が目標値（7件以内）を大きく超えた主な要因について、システム改修等の案件については、一般的に現行契約事業者が有利であり一者応札になる傾向が強く、当基金の記録管理システムは昭和40年代から開発されており、過去からの年金制度を熟知していないと対応が難しいこと、印刷の案件については、原材料の高騰（木材、原油、石炭などの資源高）と円安の進行などにより、過去の契約実績額を勘案すると価格面での厳しさが入札参加者を減少させたと考えられる等の説明を行った。

また、令和5年度より始めた一者応札・応募の改善への取組として、「辞退届兼改善アンケート」への様式の見直し、「一者応札・応募改善シート」の作成などについて説明を行った。

これに対し、委員から原材料の高騰などに対する今後の対策についての考え方、現状の分析、一者応札・応募への改善に対する取組、職員への研修へのありかた等について質問・意見があり、基金から応答が行われた。

以上の質疑応答を踏まえ、令和5年度調達等の実績と自己評価について、委員会より了承された。

- (2) 令和6年度調達等合理化計画（案）の策定について

基金より令和6年度調達等合理化計画（案）の策定について説明し、了承された。

以上